Creative Enzymes®

ゴツコラエキス（標準）

Cat. No. EXTW-005

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	センテラ・アジアティカ（Centella asiatica）、一般的にはセンテラやゴツコラとして知られる、は、マッキンレイア科（Mackinlayaceae）またはマッキンレイオイデア亜科（Mackinlayoideae）に属する小さな草本の一年生植物で、アジアの湿地に自生しています。[2] [3] アーユルヴェーダ医学、伝統的なアフリカ医学、伝統的な中国医学において、□草として使用されています。また、英語ではアジアのペニーワート（Asiatic pennywort）やインディアンペニーワート（Indian pennywort）としても知られ、他の言語でもさまざまな名前があります。
用途	パセリ科の一員であるゴツコラは、伝統的な中国医学やアーユルヴェーダ（インドの伝統医学）で、乾癬などの皮膚疾患の治療、精神的疲労の□減、喘息、発熱、胃潰瘍の治療に長い間使用されてきました。□理学的研究によると、ゴツコラの複□な作用の一つの結果は、特に結合組織において、治癒プロセスに関与する細胞や組織に□するバランスの取れた効果です。その成分の一つであるアジアチコシドは、皮膚の修復を刺激し、皮膚、□、爪、結合組織を強化する働きをします（Kartnig, 1988）。 現在、ハーブサプリメントとして販売されているゴツコラ抽出物は、まだ広範に研究されておらず、その□用はそれに□じて□大しています。

製品情報

***CAS*登□番号**	Asiaticoside: 16830-15-2 Madecassoside: 34540-22-2
分子式	アジアチコシド: C48H78O19 マデカッソシド: C48H78O20
分子量	Asiaticoside: 959.12 Madecassoside: 975.12
純度	10.0~20.0% トリテルペン HPLC
機能	適□症: 循環の□加
備考	現代の研究によると、ゴツコラは健康的な記憶機能をサポートすることが示されています。1992年にカストルバ医科大学のK. ナリーニによって行われた研究では、実験の14日前に□日抽出物を□口投与されたラットの記憶において、印象的な改善が見られました。ゴツコラで治療されたラットの学習行動の保持は、□照動物に比べて3倍から60倍良好でした。知的障害のある子供を□象としたある臨床試験の初期結果では、知能テストのスコアが向上することが示されました（Bagchi, 1989）。これは、ゴツコラがすべての特別支援が必要な子供や通常の子供の知能を向上させることを意味するわけではありません。